

大村製本株式会社 代表取締役社長 齋藤 和明

弊社はほぼ9割ぐらい子どもの絵本に特化した製本を行っている会社です。
製本というのは印刷物を切って折って貼ってくるんで立体の本にする仕事です。

今から65年前に創業しまして、元々は一般的な製本をやっていたのですが、未来に役に立つ仕事
をしたいということで子供の絵本に特化した製本を始めたようです。板橋に来てからは約60年
ぐらいになります。

僕は昔の技術をしっかりと残していきたいなと思っていて、僕自身も製本学校に通って絵本に限
らずメモ帳であったり、上製本の帳簿であったりそういう技術を学んでいて、社内に無くなって
しまった技術をもう一度復活させようとしています。

常々思うんですけど、絵本に関わる人がみんなハッピーになれるような世界というか、そういう
ことをやっていきたいなと思っていて、読者の方に喜んで頂いたり、出版社さんや作家さんも喜
んで頂いて、喜びをみんなで分かち合うチームになるような、作る人も買う人も働く人もみんな
がハッピーになっていけるような、働いてる人の幸せとか満足感とかやりがいとかを常に考えて
目指しています。

僕がすごく思うのは、板橋は赤塚公園みたいな自然もあって川が流れていたり、そんな中で昔か
らの工業地帯もあって、今はマンションもできて「いろんなものが全部ある」という感じが、
どこかに特化してるというよりも全てが揃ってるというのが板橋な気がします。

たまにうちを本屋さんだと思っておばあちゃんとかお母さんとか入ってきて「今どの本が流行っ
てますか？」と聞かれるんですけど、流行ってる本を買うよりも本屋さんで1時間でも2時間でも
自分が読んであげたい人のことを考えて「この本だったらいいな、これだったら喜ぶかな」っ
て考えた時間が思いにつながると思うので自分が選んだ本なら何でも良いと思っています。

絵本っていうのは子どもとのコミュニケーションの一つだと思っていて、自分の感覚に引っかか
って「この本だったらあの子が喜ぶかな」という本の選び方をすると本が生きてくると思っ
ていて、いつの時代も絵本で子育てをすることの良さは絶対にあると思うので、本屋さんに行った
時にベストセラーという理由で選ぶのではなく、絵本を作った人たちの思いや自分の感性で本を
選んで頂けるととても嬉しいです。

